

中央中学校だより NEXT 自立

体験を言葉に、言葉を力に

新緑のまぶしい季節となりました。新年度がスタートして1か月、子どもたちは新しい環境の中で、一步一步着実に成長しています。

4月は本校にとって「体験」と「言葉」を大切にしたい1か月となりました。

まず、「子ども読書の日」の取組では、一人一人が本と向き合い、自分の考えを深める時間を大切にしました。そして、読み聞かせではその学びを感想文として表現することで、「考える力」だけではなく「伝える力」も育まれています。

7年生 感想文

今日は中学校で初めての読み聞かせボランティアがあり、3つの物語を聞かせていただきました。「ひまわりの丘」では、震災の描写を通じて、自然災害の恐ろしさを改めて心に刻む機会となりました。次に聴いた「めっきらもっきらどおんどおん」は不思議な異世界へ飛ばされる展開に引き込まれました。特に物語の最後に登場した「水そう玉」の正体が気になり、自分だったらどうするだろうかと想像が膨らみました。また、最後の「もも太郎」は昔から知っている内容とは少し異なる点があり、その違いがとても興味深かったです。お忙しい中、貴重な時間をありがとうございました。

8年生 感想文

「ひまわりの丘」の朗読では、東日本大震災の実話に基づいた物語の重みを感じました。「なないろの会」の皆さんの声には悲しみに寄り添うような響きがあり、その迫力ある朗読に圧倒されました。悲劇を風化させず語り継ぐことの重要性を改めて深く再認識する機会となりました。一方、「桃太郎」は馴染みのある物語とは全く異なる視点で描かれており、非常に新鮮な衝撃を受けました。悲惨な描写に驚きを隠せませんでした。同時に「物事を多角的に捉え、固定概念にとらわれない」という教訓を得ることができました。現代的な視点で物語を捉え直すことの意義を考えさせられた作品です。

9年生 感想文

今年も知っているお話から初めて聞くお話まであり、とても充実した時間でした。特に印象に残っているのは、1冊目の「ひまわりの丘」と3冊目の「ももたろう」です。

「ひまわりの丘」では、お子さんを亡くされたお母さんたちが、地域の方々と協力しながら大切にひまわりを育てていく姿に深く感動しました。東日本大震災で亡くなった子どもたちがいたという事実を、この本を通して改めて胸に刻むことができました。

また、「ももたろう」には芥川龍之介が描いた作品もあることを初めて知り、驚きました。芥川の作品は「蜘蛛の糸」しか知らなかったのも、とても新鮮でした。特に面白いと感じたのは、桃太郎の視点だけではなく「鬼の視点」で物語が進んでいくところです。鬼から見た桃太郎がどのように映っていたのか、桃太郎が倒した鬼は本当に「悪い存在」だったのかなど、深く考えさせられました。これからもたくさん本を読んで、自分の世界を広げたいと強く思いました。

体験を通して、感じたことを言葉にする。この積み重ねが、学びを確かなものにしていきます。

各学年の未来科校外活動

7年生は、校内において人間関係づくりに重点を置いた学習を行いました。



7年生 ふれあい活動

これからの学校生活や将来に向けた人間関係づくりの基盤となる学びです。仲間と関わりながら、信頼関係の大切さや集団の中での自分の在り方について考える貴重な機会となりました。

(7年生振り返り文) あまり話したことがない人とたくさん話すことができたし、いろいろと知ることができてうれしかったです。これからも自分から話すことを大切にしたいです。



8年生 スペースLABO

8年生は、スペースラボでの学習を通して、科学の面白さと不思議さに触れました。実際に見て、体験することで、教科書だけでは得られない学びを深めるとともに探究心を高める機会となりました。



9年生 平和のまちミュージアム

9年生は、小倉の地で班別学習を行い、平和のまちミュージアムや水環境館、ゼンリンミュージアムなどを訪れました。歴史や平和について自ら考え、仲間と対話しながら学ぶとともに、自分たちにできることは何かを考える機会となりました。

これらの活動に共通しているのは、「**自ら学び、自ら考え、表現する**」という姿です。

これからの時代に求められる力は、単に知識を身に付けることではなく、体験したことを自分の言葉で意味づけし、次につなげる力です。

本校では、今後も「体験」と「言葉」を大切しながら、子どもたち一人一人の可能性を最大限に引き出す教育「**未来科**」を推進してまいります。



子ども読書の日（読み聞かせ）



9年生 進路説明会

進路指導説明会

「**進路とは、“どこに行くか”ではなく、“どんな自分になるか”**」先日、本校において進路説明会を実施しました。説明会の中で、生徒・保護者の皆さんに「**進路とはどこに進学するかではなく、どんな自分になりたいかを考えることです**」という話をしました。進路を考えると、どうしても学校名や合

格・不合格といった結果に目を向けがちです。しかし、本当に大切なのは、その先にある「自分の姿」です。どんな力を身に付けたいのか。どんな人として社会に関わっていきたいのか。その姿を思い描くことが進路の出発点です。